パワーユニット（1）

●エンジン概要

パワーユニットは、2018年型モデルCRF450Rをベースに、トレイルでも公道でも扱いやすいよう、以下の内容を変更、進化させたユニカムエンジンです。

●エンジン

バルブタイミング、バルブリフト量、圧縮比、クランクマスの最適化を行うことで、トレイルでの最高のドライバビリティと最適な耐久性の両立を実現しました。

トランスミッションは公道走行時の快適性を確保するため、新設計の6速ミッションを採用。

また、公道を走行する際に必要な灯火器類のためにACG発電容量もアップしています。

各国の排出ガス規制をクリアするために、ピストン、ピストンリングの仕様を2本リングから3本リング化、排気AI機構、サーモスタットを装備しました。

騒音規制に対応するため、クランクケースの左右に専用のカバーを配置。

CRF450Rに対し、これらの変更によるエンジン単体の重量増加はわずか2.5kgのみにとどめ、オフロード走行での優れたパフォーマンスと公道走行への対応を高次元で両立しました。

●吸気系

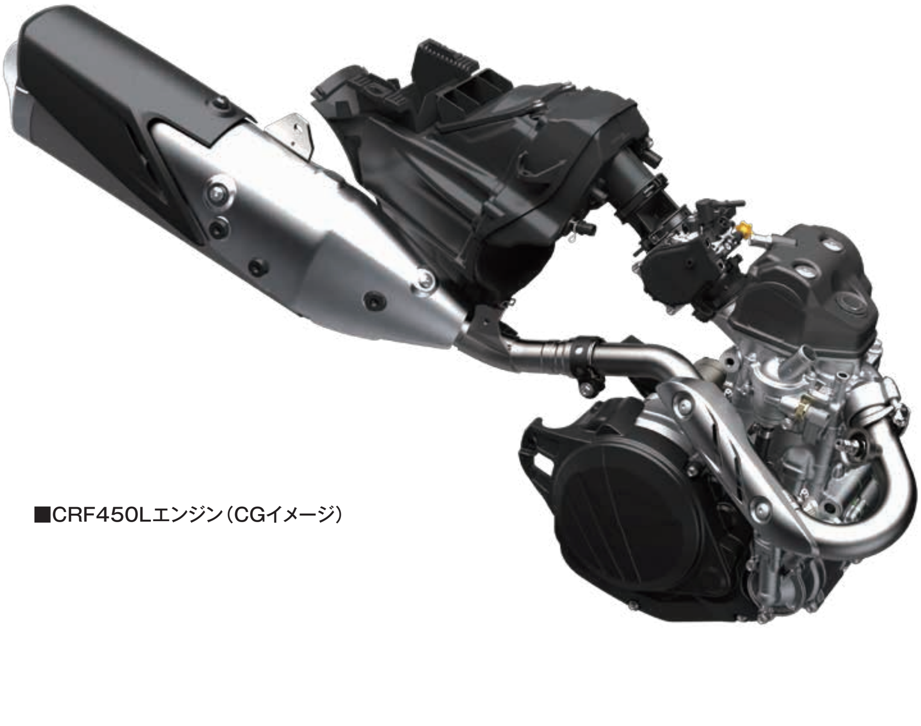
オフロード走行後のメンテナンス性を配慮し、CRF450R同様にウレタン製エレメントを採用。

また、公道走行するうえでの必要な要件を満たすため、ボックス構造のエアクリーナーを採用しました。

●排気系

排出ガス規制と騒音規制に対応するため、O_2センサーを装備したエキゾーストパイプとキャタライザー内蔵の1本出しマフラーを新設計しました。

さらに、新設計のマフラーカバーを採用し商品魅力を向上させました。



■CRF450Lエンジン（CGイメージ）